

紙面に掲載されている映写機マークがある写真をスマホをかざすと写真が動く「AR」を導入しています。体験するには「Aurasma」アプリが必要です。導入方法などは町ホームページをご覧ください。「三芳町 AR」で検索！



三芳町 AR

検索

熱いバトルを繰り広げた 新春恒例イベント

第37回新春ロードレース大会

今年で37回を迎える新春ロードレース大会が1月15日(日)に行われました。冬晴れの気持ちのいい天候となった当日、家族らの熱い応援を受けながら、老若男女431人のランナーがゴールをめざし汗を流しました。ゴール前では一位を争うデッドヒートが各部門で見られ、白熱した争いを繰り広げました。



↑最初の競技、親子ペアの競走のゴール前でもデッドヒートが繰り広げられました。



↓先輩の小笹さんと一緒にグラウンドを走る後輩の生徒たち。



↓リニューアルオープンによるテープカットの様子。



箱根駅伝の走りをふるさとで披露 藤久保中学校卒業生、小笹椋さん凱旋

今年の箱根駅伝で2位となった東洋大学で7区を走った、藤久保中学校の卒業生の小笹椋さんが1月19日に母校で走りを披露しました。この日は小笹さんのほかにも5区の橋本選手、9区で区間賞の野村選手も参加。生徒たちと走り一緒に汗を流しました。駅伝のペースで3選手が走ると、生徒たちからは驚嘆の声が。「母校にこうした形で恩返しができるうれしい」と小笹さんは笑顔で話しました。

総合体育館フィットネスルーム 1/6(金)にリニューアルオープン

1月6日(金)、総合体育館のフィットネスルームがリニューアルオープンしました。ランニングマシンなどの有酸素運動系マシンや筋力系マシンなど従来のマシンを入れ替え、新機種を導入しました。また、今回新たにTRXのサスペンショントレーニングを導入。筋力向上のトレーニングはもちろん、障がいのリハビリなど様々な場面での用途が期待されます。

フォトニュースに掲載しきれないイベントや写真は町のFacebook「いいね！三芳町。」で配信中。ロゴがあるイベントは関連した情報などをFacebookで公開しています。



先人の想いを感じる ヤマの恵み、落ち葉

体験落ち葉掃き @ 多福寺境内

1月14日(土)に多福寺境内で行われた落ち葉を集め堆肥にする、体験落ち葉掃き。「都内から近いのに、伝統的な農法を守っていることに驚き！体も動かせ、健康にもいいですね」と参加者。落ち葉堆肥で作られたみよし野菜がふんだんに使われたけんちん汁や、富の川越いものふかしいものに、舌鼓をうっていました。



↑落ち葉を持ち上げて幅を競うコンテスト。1m以上も持ち上げる人も。

↓手話ダンスグループ Inspire の手話パフォーマンス。



手話に親しむ地域をめざして 彩の国手話フェスタ2017

2月2日(休)、手話言語条例記念イベント「彩の国手話フェスタ2017」がキラリ☆ふじみで開催されました。手話言語条例を制定している各自治体や全日本ろうあ連盟、埼玉県聴覚障害者協会などの関係者による対談が行われ、坂戸ろう学園の太鼓サークルによる演奏や、手話ダンスグループによるパフォーマンスも披露されました。観客も手話で拍手を送るなど、手話に親しみ、関係者は今後の普及に期待を込めました。

↓三芳町へ検討報告をした実践女子大学の学生。地元農家の皆さんと。



若者の目線で考える三芳町 実践女子大生による検討報告

1月21日(土)、三芳町役場で行われた「実践女子大生の視点による、埼玉県三芳町への『地方創生』に関する検討報告会」。三芳町を訪れ、半年をかけて歴史や農法を学び、地元農家の皆さんと意見交換をした実践女子大生は、町をよりPRするため、野菜を楽しみながら走るVEGEランなど、具体的な提案を町長や教育長の前で行いました。報告をうけた林町長は「若い人の視点を活かしていきたい」と話しました。

広報に掲載された人で希望者には、写真を差し上げます。秘書広報室 ☎049(258)0019(内線312)まで